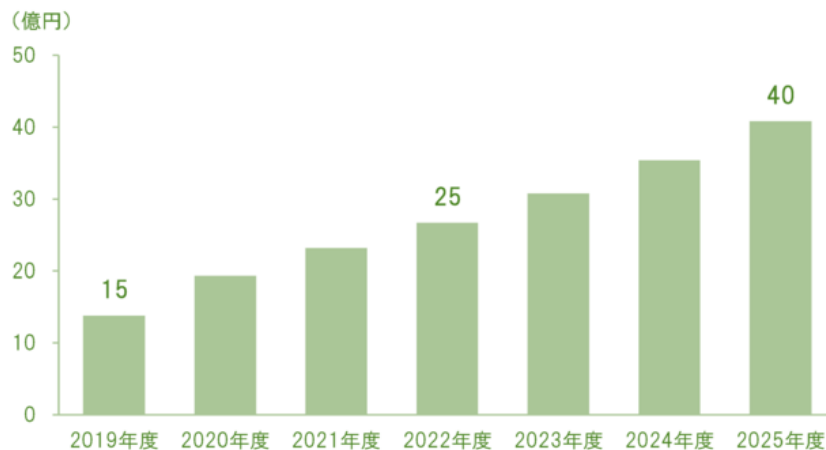


大豆ミート市場について

近年、地球の温暖化、食糧問題等をはじめとする環境やエネルギーに対する社会問題への意識の高まりにより、環境を配慮した食材や商品の需要が増加しています。特に、大豆ミートをはじめとする植物性由来食品に対する注目度が上昇傾向にあります。国内においては、1960年代から大豆ミートの開発が進められ、2020年頃には、食品大手企業や食肉大手企業、また、スタートアップ企業の本格参入や新商品の開発が相次ぎ、国内における市場が形成され始めました。今後、2025年の市販用大豆ミート市場（※外食や業務用は除く）は、約40億円（日本能率協会調べ）に達すると言われていています。このように、大豆ミートをはじめとした代替肉へのニーズの高まりを受けて、多くの企業が大豆ミート商品を開発したり、製造・販売を始め、現在では市販用製品の手続き企業だけで60社、外食や業務用の企業を加えると数百社となり、その数は年々増加傾向にあります。



出典：日本能率協会調べ

大豆ミート市場への参入企業の増加に伴い、大豆ミート食品を購入したり食べたりすることができる場所は増加しており、最近では、スーパーやコンビニ、ファミリーレストラン、カフェなど、日常的に一般的な店舗でも大豆ミート食品を見かけることが多くなってきました。

今後も大豆ミート食品を開発・販売する企業は増加する見込みであることや、消費者の認知度・購買意欲が、ますます高まることが予測されることから、大豆ミートの市場は、拡大することが見込まれています。

(2023年10月現在)